

第4回一般社団法人千葉県理学療法士会役員選挙立候補者

平成 28 年 11 月 16 日に立候補者を締め切り下記の方々而立候補されています。

立候補者数が定員(14 名～30 名)内でしたので投票は行われません。

平成 29 年 6 月に開催予定の総会にて承認を図ります。

2 ページ以後に各立候補者の立候補趣旨を掲載します。

理事

上田 知成	介護老人保健施設のぞみ
薄 直宏	東京女子医科大学八千代医療センター
榎尾 英之	親愛ケアサービス(有)
岡田 亨	船橋整形外科病院
小川 明宏	東邦大学医療センター佐倉病院
工藤 誠	千葉中央メディカルセンター
小滝 治美	初富保健病院
齋藤 義雄	松戸ニッセイ聖隷クリニック
高杉 潤	千葉県立保健医療大学健康科学部
高橋 聡	藤リハビリテーション学院
竹内 弥彦	千葉県立保健医療大学健康科学部
田中 康之	千葉県千葉リハビリテーションセンター
外口 徳章	さかいリハ訪問看護ステーション・船橋
中溝 正浩	栄町
中村 亮太	五香病院
藤井 顕	藤リハビリテーション学院
藤川 孝彦	国際医療福祉専門学校
松川 基宏	船橋市保健所
松田 徹	千葉医療福祉専門学校
三和 真人	千葉県立保健医療大学健康科学部
茂木 忠夫	さんむ医療センター
山岡 郁子	藤リハビリテーション学院
山崎 敦	総泉病院
渡辺 良明	(有)ヴァウ

監事

西山 晴彦	介護老人保健施設ユ一・アイ久楽部
吉田 久雄	順天堂大学医学部附属順天堂浦安病院

(50 音順・敬称略・会員登録上の所属となります)

一般社団法人千葉県理学療法士会 選挙管理委員会委員長 内村 元

第4回役員選挙理事立候補者一覧および立候補趣旨（五十音順）

理事立候補者

上田 知成 介護老人保健施設のぞみ

私は3年間渉外部部長を務め、平成27年度から理事として運営に携わらせて頂きました。県士会はブロック化を進めていますがまだ道半ばです。災害対策委員長として災害対策もこれから活動を進なくてはなりません。ブロック化も災害対策も地域の繋がりがコアな部分です。この繋がりが私たちの対象とする方々の支えとなります。地域の中で理学療法士が繋がりの結び役となれるように、微力ながら貢献できればと思います立候補いたしました。

薄 直宏 東京女子医科大学八千代医療センター

現事務局長を任命されております薄（うすき）直宏と申します。今後も会員の皆様におわかりやすい県士会活動をホームページ、ニュース、FAX 通信などでお伝え出来ればと考えております。また県士会に所属することで理学療法士の価値を高められるように地域包括推進リーダーや介護予防推進リーダー資格、協会指定管理者取得の千葉県内で推進していきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

榎尾 英之 親愛ケアサービス(有)

この度、理事に立候補いたしました親愛ケアサービスの榎尾英之です。これまで平成14年から20年、24年から現在に至るまで学術局の単位管理部部員・部長として会の運営に携わってきました。現在、我々理学療法士を取り巻く環境は大きく変化し地域包括ケアシステムが構築されていく中で職能・学術団体として柔軟に対応していくことが求められます。微力ではありますが会の発展に寄与していきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

岡田 亨 船橋整形外科病院

平成28年9月には、会員数が4000名を超えた千葉県理学療法士会のさらなる発展と、会員の皆様の諸活動の充実のために、私の強みとする分野において、より活動的な県士会の取り組みが行えるよう、理事の一員として活動に臨むこととお約束し、千葉県理学療法士会理事に立候補いたします。

小川 明宏 東邦大学医療センター佐倉病院

私は、地域包括ケアシステムの中で理学療法士の専門性を活かし活動できるような体制づくりの為にブロック化・圏域のネットワーク構築に向け、県士会活動を積極的に行いたいと考えております。

同時に、千葉県理学療法士会員の学術的な活動の促進のためのシステム作りも必要であると考え、今回理事に立候補いたしました。

工藤 誠 千葉中央メディカルセンター

2期にわたり理事を務めさせていただきました。担当は職能局でしたが、私どもに影響のある医療・介護保険部、ワークライフバランス部と業務推進部で活動してきました。今後も複雑になる分野ですが、できれば次期も士会活動に協力できればと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

小滝 治美 初富保健病院

私は、療養病床や通所リハビリ・認知症カフェにて多くの認知症の方がたの支援に携わってまいりました。認知症支援の重要性が語られる昨今、理学療法士も大いに認知症支援に関われるよう、システム作りをしていく必要があると思います。私の経験と実践がそのお役に立てるのではないかと思い、立候補させていただきました。

齋藤 義雄 松戸ニッセイ聖隷クリニック

この度役員選挙に初めて立候補いたします齋藤義雄と申します。田中会長を始め同世代の理事の先生方のご尽力に触発され、県の理学療法士発展のために一役担えたらと思い立候補に至りました。現職としてニュース編集部の部長を務めさせて頂いております。自身の関心としては人材育成です。医療福祉教育管理分野の修士を修了（2017 予定）し、更なる学びを通じ千葉県のために尽力させて頂く所存です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

高杉 潤 千葉県立保健医療大学健康科学部

今期で3期目の理事の立候補となります。これまで学術局での活動をメインとしておりました。今後はさらに会員の皆様のために、学術の発展のため、より一層のアイデアを凝らして、尽力する所存です。よろしくお願ひします。

高橋 聡 藤リハビリテーション学院

私は平成20年より公益事業局にて理学療法(士)の啓発活動に従事してまいりました。また、平成27年度からは事務局担当理事としてブロック制および代議員制の導入に向け、定款改定に従事し、現在はブロック制の準備を担当しております。会員数も4000人規模となり、若い会員も多くなってきました。職能団体、学術団体としての機能を充実させ、会員一人ひとりにメリットが有る、わかりやすい県士会づくりに尽力致します。

竹内 弥彦 千葉県立保健医療大学健康科学部

このたび、千葉県理学療法士会理事に立候補した竹内弥彦と申します。

私はこれまで、主に公益関連の事業において、部長として8年間、理事を5年間うち公益事業局長と副会長を3年間勤めて参りました。これまでに展開してきた職能団体としての活動や他組織とのつながりをより広く深いものとし、理学療法士の専門性を活かした職域拡大に貢献する所存です。

田中 康之 千葉県千葉リハビリテーションセンター

この4年間、各役員そして会員の皆様のご協力の下、会長として代議員制の導入、役員の増員、ブロック化、地域包括ケア推進のための人材育成、OT・STとの連合会の設立、災害リハ支援団体の設立、県からの事業受託など様々な取り組みをしてまいりました。次期は2020年のオリンピック・パラリンピックに向けた展開も始まります。更なる県士会への貢献を致したく改めて立候補をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

外口 徳章 さかいリハ訪問看護ステーション・船橋

現在、在宅支援部長、災害対策委員として活動させていただいております。今後も今後の経験を活かし、ブロック化及びより活発な会の運営に貢献したいと思ひ、立候補させていただきます。

中溝 正浩 栄町

この2年間、事務局担当理事として代議員制導入に向けて、定款改訂などの事務作業を行いました。その定款改訂案が先の総会において承認されたことで、身近な代議員へ皆様の考えや意見が伝えやすくなるものと思います。今後、県士会活動のブロック化を進め、名実ともに会員皆様が身近な場所で活動ができるように環境整備をしていきたいと考え、理事に立候補いたします。

中村 亮太 五香病院

この度、千葉県理学療法士会理事に立候補させていただきます中村亮太です。これまで在宅支援部、災害対策委員として部、委員会の運営に参加しております。現在の職場も療法士の育成と円滑なチーム医療、地域での活動に努めております。

これからも微力ながら理学療法士の活動範囲の拡大と千葉県理学療法士会の発展に協力できれば幸いです。宜しく願い致します。

藤井 顕 専門学校 藤リハビリテーション学院

理事の 1 人として、これから理学療法士として活躍される会員のためにも、務めていきたいと考えております。

藤川 孝彦 国際医療福祉専門学校 理学療法学科

県士会会員数は 4000 名を超えました。先の総会で代議員制度が開始されることになり、県内ブロック化が推進中です。会員増の現在こそ、地域での会員の顔と顔が見える関係が重要と考えます。理学療法士だからこそその情報を発信できる環境を整え、会員の皆様が笑顔になれる士会組織が存在してこそ、皆様の向き合っている患者様の QOL の向上の素となることでしょう。微力ですが県士会の発展にご協力したく理事立候補致します。

松川 基宏 船橋市訪問看護ステーション

日本は少子超高齢社会に突入し、2060 年には 4000 万人以上の人口が減少すると見込まれています。それが何を意味するのか。私たちを取り巻く環境は著しく変わります。私は、船橋市の行政職として地域保健、障害福祉、在宅医療、そして、現在の介護予防の事業に携わり、常に「地域リハビリテーション」の実現を目指し、生活期リハ、多職種連携、認知症リハ、介護予防に取り組み、作業療法士会、言語聴覚士会とも協調し活動しています。微力ですが引き続きよろしくお願ひいたします。

松田 徹 千葉医療福祉専門学校

私はこれまで学術企画部部長として、また第 21 回千葉県理学療法士学会準備委員長として県士会運営に携わることを通じて貴重な経験をさせて戴きました。今後も県士会員の皆様の質・量ともに満足度の高い生涯学習機会の提供、県士会運営のブロック化に向けた人材の発掘・ネットワーク作り、に微力ながら尽力させていただきたく理事に立候補いたしました。

三和 真人 千葉県立保健医療大学 健康学部

今後の医療体制は、「地域包括システムケア」の趣旨で謳われるように地域医療は地域の医療人が賄う時代であると、容易に想像ができればよい。その中核であるリハビリにおいて、益々「理学療法」の存在意義が求められます。リハビリの中心にあり続けるための戦略とは何か、常に思考しながら、本県士会、強いては地域医療の医療に尽力したいと考えます。「理学療法士」であることの存在意義を一層築いていくことが本県士会の使命と考え、立候補に至りました。どうぞ、宜しくお願ひします。

茂木 忠夫 さんむ医療センター

ここ数年、理学療法士の活動がニュース等に取り上げられ、知名度が高くなる喜びと、理学療法士の質の低下を感じる事が有ります。士会員の取り巻く情勢を認識し、知識、技術の研鑽をする事が理学療法士として生き残る一つ的手段と考えます。士会員の皆さんが、必要な知識を修得できる様、努力いたします。

山岡 郁子 藤リハビリテーション学院

現在、学術局資料部部長として活動させて頂いております。徐々に地域の中での理学療法士の動きも出てきている中、千葉県士会員は県民の生活や健康を守る立場であるということ肝に銘じ、学術的側面から応援できることは何かと模索しながらここまで参りました。微力ではありますが、さらに会員の皆様のために、今後も働くことができればと考えております。

山崎 敦 総泉病院

千葉県理学療法士会に事務局財務部として4年間携わってまいりました。今後、当士会のブロック化や理学療法士・作業療法士・言語聴覚士との連携が必須となり、組織の体系はますます複雑となることが予想されます。財務の面でもそれらを統制することが強く求められます。今までの4年間の経験を踏まえ士会の今後の発展にお役に立てればと思ひ、立候補した次第です。

渡辺 良明 (有)ヴァウ

千葉県内のブロック化の推進に努め、会員相互の連携により、地域包括ケアシステムの構築に向けての活動がより活発になるように頑張りたいと思っています。

監事立候補者

西山 晴彦 介護老人保健施設ユー・アイ久楽部

社会状況はますます混迷を深め先行きの不透明感が増しています。その中でも少子高齢化、人口減少は確実に対応は待ったなしです。理学療法士が「地域包括ケアシステム」において存在感を示し、関係するすべての方々の信頼を得ることができるよう見守らせていただきたく立候補いたします。

吉田 久雄 順天堂大学医学部附属順天堂浦安病院

社会運営の協力をお願いします